

愛知登文会総会報告

第7回

平成29年6月30日発行

平成29年度総会

平成29年5月31日(水)開催

平成29年5月31日(水)、榎橋家住宅(名古屋市緑区有松)において、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会平成29年度総会を開催しました。

総会

午後2時～3時

平成29年度総会は、正会員総数65名のうち48名出席(うち委任状24名)のもと、天野理事の開会の辞で始まりました。総会開催にあたり、榎橋家住宅所有者の榎橋恭子様にご協力いただきました。またご来賓には、愛知県文化財保護室室長 安井健治様、あいちヘリテージ協議会 下會所(しもかいしょ) 豊様、なごや歴まちびとの会会長 野村昭男様、大阪登文会 青山修司様にご臨席を賜りました。議題ではいずれも原案通り異議なく承認されました。

- 1 開会の辞 / 2 会長挨拶 / 3 来賓祝辞 / 4 議長指名
- 5 議題
 - 第1号議案 平成28年度事業報告
 - 第2号議案 平成28年度決算報告及び会計監査報告
 - 第3号議案 規約の一部改正について
 - 第4号議案 平成29年度役員について
 - 第5号議案 平成29年度事業計画について
 - 第6号議案 平成29年度予算について
- 6 表彰 / 7 閉会の辞 / 8 写真撮影



榎橋家住宅にて記念撮影

会長挨拶

初代会長 長谷川良夫

本会は、文化庁の示唆と愛知県教育委員会のご指導により平成23年6月26日に設立総会が開かれ、今年で7回目の総会となりました。ひとえにご支援いただける皆様のおかげでございます。設立当初から受けることができた文化芸術振興費補助金を毎年いただき、活動してまいりました。

この会の目的は、単に親睦を深めるだけではなく、問題点を明らかにして、改善を文化庁に働きかけることです。年に1回のこの機会にご忌憚のないご意見をお伺いし、実りある総会としたいと思います。

総会の中で行った表彰は、昨年度に引き続き2度目の表彰となります。今回は、榎橋恭子様(榎橋家住宅)、今泉忠芳様(旧今泉医院)、長谷川良夫初代会長の3名を表彰しました。



榎橋恭子様



今泉夫人



長谷川良夫初代会長

表彰について

新会長 小栗宏次

この表彰事業は、登文会として文化財の保存・活用に関してより活性化するためにも、参考になる事例、ご努力いただいた事例に表彰しようと、昨年度から始めたものです。まず、県内の登録有形文化財の所有者ならびに関連する活動につきましてアンケートを取らせていただき、理事会でその内容を分析しました。その中でいくつか訪問して所有者の方と面談をし、今年度は是非表彰させていただこうという案件を選定いたしました。

会長交代について

新会長 小栗宏次

長谷川前会長は、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会初代会長として、後世に残したい伝統的建造物保存活用のための活動に尽力されるとともに、会の発展に多大なる貢献をされました。引き続き、会員皆で力を合わせ、会をさらに発展できるよう、頑張っていきたいと思っております。長谷川前会長には、名誉会長として引き続きご指導いただきたいと思います。

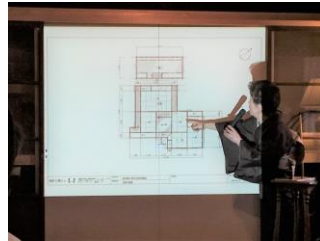
登録文化財紹介

午後3時10分～4時20分

4つの登録文化財（愛岐トンネル群、旧堀田廣之家住宅、蓮教寺、棚橋家住宅）の所有者の方から、歴史や建物の特徴、活用状況などについてご紹介いただきました。



愛岐トンネル群



旧堀田廣之家住宅



蓮教寺



棚橋家住宅

交流会

午後5時30分～7時

交流会は、竹田嘉兵衛商店三番蔵にて行いました。開始時刻までの間、名古屋市指定有形文化財である竹田家住宅（竹田嘉兵衛商店）や、2月に新しくオープンしたライブラリーカフェ庄九郎を見学させていただきました。交流会開催にあたり、中村淑子様にご協力いただきました。総勢50名の参加者がお互い親睦を深め、大いに盛り上がりとてもよい会となりました。



交流会の様子

新役員体制

*印は今年度新任した役員

理事長(会長)	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
副会長	天野 啓介	(大野宿鳳来館ほか)
事務局長	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
"	柴田 正康	(柴田家住宅主屋)
"	筧 清澄	(筧家住宅主屋)
"	上野 正彦*	(岡崎信用金庫資料館)
"	松平 實胤	(寂光院)
"	森川 信江*	(森川家住宅)
監事	近藤 佳世	(愛知県教育委員会文化財保護室)
"	佐藤 敏博	(佐藤税理士事務所)
名誉会長	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
"	杉野 丞	(愛知工業大学建築学科教授)
"	小川 芳範	(愛知県立一宮商業高等学校校長)
"	井澤 知且	(名古屋学院大学現代社会学部教授)
"	牧 謙治	(愛知県立一宮高等学校教頭)
"	溝口 正人*	(名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授)
"	西澤 泰彦*	(名古屋大学大学院環境学研究科教授)
"	是澤 紀子*	(日本女子大学家政学部住居学科学准教授)

平成29年度は、文化庁補助事業や大成建設助成事業との連携により活動を実施するとともに、会独自の事業として情報発信や県外視察などを実施する予定です。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「文化芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）」による事業

- ① 文化財ガイド育成事業（新規）
 - ・地域で活動する建築専門家を対象に文化財ガイドの方法に関する講習を3箇所で行う。
- ② 登録文化財特別公開事業（平成26年度より継続）
 - ・登録文化財の公開や、所有者・専門家による建物解説を6地域40箇所以上で行う。
- ③ 登録文化財保存活用シンポジウム（新規）
 - ・保存活用にあたっての様々な課題を乗り越えるための専門的あるいは事例的な情報を提供し、意見交換を行うシンポジウムを2回開催する。

「公益信託 大成建設自然・歴史環境基金」による事業

事業テーマ「登録文化財所有者の会のネットワーク構築—全国組織の設立を目指して—」

全国登文会情報交換会 —3月5日（日）名古屋テレビ塔にて行った。

シンポジウム —10月13日（金）金城学院高等学校栄光館にて行う。

愛知登文会独自事業

愛知登文会の情報発信 —ホームページ・フェイスブックによる情報発信を行うとともに、愛知登文会ニュース第17号、第18号、第19号にて活動報告を行う。

県外視察 —県外の登録有形文化財や先進的取り組み等を視察する県外視察を企画・実施する。

表彰の実施 —第3回の表彰に向け、表彰者の選定を行う。

企画展共催 —4月20日（木）～5月7日（日）文化のみち榎木館にて、「なごや折り紙建築展」を開催した。

※本総会をもって愛知登文会事務局は、名古屋陶磁器会館から名古屋テレビ塔へ移行しました。